

国境なき子どもたち (KnK) カンボジア
インターネット&ウェブサイトワークショップ
2006
実施報告書

主催 : 特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK)

協賛 : 松下電器産業株式会社

報告者

カンボジア事務所 現地代表 門倉 若菜

作成日 2006年7月10日

I. 開催にあたって

KnKは2004年夏、松下電器産業株式会社様よりご支援を頂き、約1ヶ月間にわたるビデオワークショップを開催した。それに引き続きまたも貴重な機会を賜り、昨年度に実施を計画していたインターネット&ウェブサイトワークショップを、今回ようやく実施することができた。

II. 目的

近年、国際社会全体で高度情報化が進んでいる。日本や他の先進国ではコンピューターが一般家庭に普及し、インターネットはもはやなくてはならないものとなった。一方、カンボジアをはじめとする発展途上国でも同様に情報化が進展し、特に都市部でインターネットの利用者数が増加している。しかしこの国においてコンピューターを日常的に利用できるのは、生活にゆとりのあるごく限られた一部の人のみであり、また良い就職先を得るにはオフィス系ソフトをはじめとするPCスキルが求められるようになってきているが、コンピューターを学ぶには専門の学校に通わねばならず、デジタルデバイドー情報化が生む経済格差一が拡大しているのも事実である。

KnKはカンボジアの北西部バタンバン州にて、元ストリートチルドレンや孤児、極度の貧困家庭の出身者、そして人身売買の被害に遭った子どもなど、恵まれない青少年のための自立支援施設「若者の家」を運営している。ここで生活する子どもたちは、「若者の家」に来る以前は自分自身が生き延びるために、そして家族を養うために日々を過ごしてきており、その間は自分の将来を考える余裕などまったくない生活を送っていた。そのような彼らにとって、コンピューターは遠い世界のものでしかなかった。

しかし現在、彼らは「若者の家」で比較的高い教育を受け様々な新しいことを吸収しており、また彼らを取りまく社会も急速に変化している。今回のワークショップでますます身近になるインターネットを学ぶことで、拡大するIT分野の職業を知ると共に、彼らがインターネットをひとつの道具として有効に活用できるよう、その仕組みや使い方を学ぶことを目的とした。

III. 開催期間 2006年6月16日～25日（詳細は後述、VI.項を参照）

IV. 参加人数

バタンバンおよびプノンペンの「若者の家」で暮らす若者32名に希望者を募ったところ、11名が名乗りをあげたが、そのうち試験を終えて時間にゆとりのある9名が参加することとなった。また、スタッフでエドゥケーターのチョムラン氏も引率のため参加者に加わった。

今回は高度な内容を扱うため、参加者を16歳以上とした。彼らのうち数名は学校で基本的なPCスキルを学んだり、日常でEメールを使用したりしている。なお、グループはワークショップ実施中に割り振られたもので、グループワークの際に使用した。

名前	性別	年齢	学年	グループ
シナット	男子	19歳	義務教育9年生(=日本の中学3年生相当)	C
ティア	男子	19歳	義務教育8年生(=日本の中学2年生相当)	A
ロウ	男子	18歳	義務教育9年生(=日本の中学3年生相当)	B

ソンボン	男子	20 歳	義務教育 7 年生(=日本の中学 1 年生相当)	C
ブンヒアプ	男子	17 歳	義務教育 7 年生(=日本の中学 1 年生相当)	C
ロタナ	女子	19 歳	義務教育 11 年生(=日本の高校 2 年生相当)	B
ソパニー	女子	17 歳	義務教育 9 年生(=日本の中学 3 年生相当)	A
ソッカ	女子	16 歳	義務教育 8 年生(=日本の中学 2 年生相当)	B
スレイネア	女子	18 歳	義務教育 8 年生(=日本の中学 2 年生相当)	A
チョムラン	男	—	スタッフ(「若者の家・男子」エドゥケーター)	A

V. 講義内容

カンボジア・プノンペンでコンピュータースクールの運営およびウェブデザインを行う企業である COCC (Cambodia One Click Communication) に講義を依頼した。彼らは各地で子ども向けのマルチメディアトレーニングを実施した実績がある。

カリキュラムとして、10 日間のうち前半の 3 日間では、その仕組みと使い方を学ぶことでインターネットをアクセス可能なものにし、後半の 7 日間では様々なソフトウェアを用いてウェブサイト作成をう、というものであった。

日付	講義	内容
16 日 (金)	オープニングセレモニー／ コンピューター利用の基礎知識	初心者にも講義が理解できるよう、ソフトウェア、ファイル、フォルダなどの基礎的な知識を学びながら PC に触れて慣れる。
	インターネットとは	ウェブブラウザ、サーバー、URL 等のキーワードと共にインターネットの仕組みを学ぶ。
17 日 (土)	インターネットと E メールを使おう	ウェブサイトや E メールを実際に使用してみる。検索エンジンを使ったキーワード検索や、添付ファイルの送信・複数送信も行う。
18 日 (日)	グループワーク	シナリオとストーリーボードの作成を通して、ウェブデザインの考え方と表現手法を学び、作りたいウェブサイトのコンセプトを練る。また、ユーザー志向デザインについて学ぶ。
19 日 (月)	Adobe Photoshop を使った画像編集	各ツールの機能を知り、画像の編集(サイズ変更、切り取り、貼り付け、合体)、ページデザインに必要なロゴやレイヤーの作成を練習する。
20 日 (火)	Adobe Photosho の練習／ ワードでウェブデザイン練習	使い慣れたワードを使って、KnK のホームページから素材をコピー&ペーストして作りたいデザインのイメージを具体化させる。
21 日 (水)	Goldwave を使った音声編集	PC の音声機能や音声のファイル形式を知ると共に、ウェブに掲載可能な音声の編集を行う。
22 日 (木)	Goldwave の練習／ Adobe Photo Premier を使った映像編集	複数のサンプルビデオを使って、映像を切ったりつなげたり、BGM やタイトルを入れたりといった、画像編集の方法を学ぶ。
23 日 (金)	Adobe Photo Premier の練習／ Dreamweaver の導入	テンプレートやライブラリーを作成しながらウェブページのデザイン方法を学ぶ。
24 日 (土)	Dreamweaver を使ったページ編集	既存のウェブサイトを参考に、その構造を分析しながら自分が作りたいウェブサイトの基礎となるものを作る。
25 日 (日)	Dreamweaver でウェブサイト作成／ クロージングセレモニー	ワードで作った自分たちのデザインを Dreamweaver で作成し、ウェブサイトを作成させる。

VI. アンケートによる理解度評価

ワークショップ後、学習内容に沿った以下の内容で参加者全員にアンケートを実施した。回答は「はい」「どちらともいえない」「いいえ」の3択とした。

No.	質問	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	インターネットの仕組みを理解した	8	2	0
2	インターネット検索、Eメール送信ができる	8	2	0
3	ユーザーインターフェースデザインの内容を理解した	2	7	1
4	Adobe Photoshop による画像編集-基本的な操作ができる	7	3	0
5	Goldwave による音声編集-基本的な操作ができる	8	2	0
6	Adobe Premier による映像編集-基本操作ができる	6	4	0
7	Dreamweaver によるウェブサイト編集-基本操作ができる	3	6	1
8	10日間楽しく学ぶことができた	10	0	0
9	ワークショップは自分にとって簡単だった	6	1	3
10	講師やアシスタントはみな助けになった	10	0	0
11	マルチメディアやウェブデザインについてもっと学びたい	10	0	0

質問1～3は講義について、8～11についてはワークショップ全体についての質問である。質問1・2では、全くの初心者であった2名を除く全員がインターネットについてしっかりと理解したことがわかった。質問3では、様々なウェブサイトを見たりウェブデザインのスタイルを学んだりしたものの、今回は残念ながらあいまいな理解に留まったようである。質問4～7に関してであるが、受講者のコメントと合わせて分析すると、毎日新たなソフトウェアの機能・操作を短時間で学ぶため十分に習得しきれなかった、といえる。質問9で「いいえ」と答えた者が多いのもこのためであろう。しかし質問8・10・11に対して全員が「はい」と答えていることから、今回のワークショップを楽しみながら学び、更に学びたいという積極的な姿勢が伺える。

VIII. 子どもたちの感想

上記のアンケートにコメント欄を付し、自由に感想を述べてもらった。それらを列挙した。

名前	コメント
ロタナ(女子)	インターネットについて勉強できてとても幸せです。でも休憩時間が短かったので疲れました。
ロウ(男子)	わからないところがたくさんありました。特に Dreamweaver が難しかったです。
ブンヒアプ(男子)	コンピューターの使い方がわからなかったのもとても難しかったです。このワークショップに参加することは自分にとってとても重要でした。全ての講義内容を理解して覚えていきたいです。
ソッカ(女子)	講師やアシスタントの方々はとても良く指導してくれましたが、ずっと頭の中が忙しくはっきりとせず、よく理解できませんでした。できれば補習をして欲しいです。

チョムラン (スタッフ)	10日間は短くて良いが、説明の時間が長く練習の時間が短く、全てが新しいプログラムであったのでいくつかわからないことがあった。
シナット(男子)	短期間でレッスンが難しかったです。勉強を続ければ理解できると思いますが、そうでなければよくわからないままです。機会があればさらに勉強したいです。
ソパニー(女子)	このワークショップがとても好きです。将来に役立つスキルとなりました。短期間だと100%理解できないので、今度は長期間じっくりと勉強したいです。
スレイネア(女子)	参加させて頂きありがとうございました。短期間だとわからないことが多いので、是非長期間勉強を継続したいです。
ソンボン(男子)	このワークショップにご支援下さりありがとうございました。今回色々なソフトウェアについて使い方を知りました。自分にとって重要なことなので、練習してマスターしたいです。もし次の機会があればまた勉強したいです。
ティア(男子)	非常に興味深いワークショップでした。ご支援頂きありがとうございます。今後どうぞご支援下さい。皆様の成功と発展をお祈りします。

IX. 謝辞

この度、松下電器産業株式会社様よりご支援をいただき、カンボジアにおける本インターネット&ウェブサイトワークショップを開催することができました。子どもたちのために最新の情報処理技術を学ぶ機会をご提供くださり、実り多いワークショップの開催にお力添えくださった同社のご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

この子どもたちは、過去の不遇な時代を取り戻すかのように何事にも非常に積極的に取り組んでいます。参加者のうち3名の男の子は前回のビデオワークショップにも参加したメンバーです。また、女の子たちは今回参加が決まってから開催まで数日間、事務所のコンピューターで自主的にタイピングの練習に打ち込んでいました。実施中は専門用語の多い英語バージョンのOSやソフトウェアを使わなければならず理解は容易ではなかったと思いますが、途中で飽きて投げ出したりせず、何度も質問したりメモをとったりと理解しようとする努力の姿勢が常に見られました。時には音楽を聞きながら歌ったり、友人どうしでチャットをして遊んだり、ということももちろんありましたが、全体を通して彼らの集中力には目を見張るものがありました。そして現在、終了後もコンピューターを開いて熱心に練習に励んでいます。彼らの多くはコメントにもあるように、もっとインターネットについて学びたい、という興味を持つに至りました。

講義を担当したCOCOCの方々、具体的な事例を多く用いて難しい内容をよりわかりやすくしよう努め、多くの質問を子どもたちに投げかけ理解を促し、また終了証書を下さり参加者の努力を称えてくれました。この証書は子どもたちが就職する際に役立つことは間違いありません。

この活動により子どもたちは有意義な夏季休暇を過ごすことができ、また関心分野や将来の選択肢を増やす機会となりました。今後は今回学んだ知識とスキルを活かし、彼らが将来カンボジアの地域社会に貢献できるようになれば最善です。同社のご支援に厚く御礼申し上げます。

特定非営利活動法人国境なき子どもたち 一同

<ワークショップの様子>



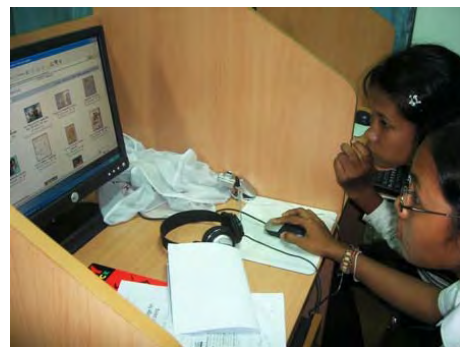
【1日目】オープニングセレモニー



【1日目】インターネットを使ってみる



【2日目】Eメールとビデオチャットの練習



【2日目】検索エンジンを使った画像検索



【3日目】ストーリーボードを作成



【3日目】グループごとに発表を行う



【4日目】Adobe Photoshop の導入



【4日目】Adobe Photoshop の練習中



【5日目】MS Word でウェブデザイン①



【5日目】MS Word でウェブデザイン②



【6日目】Goldwave で音声編集



【6日目】困った時は講師が直接指導



【7日目】Adobe Photo Premier で映像編集



【7日目】アシスタントが色々なコツを伝授



【8～9日目】Dreamweaver のレッスン



【8～9日目】いよいよウェブらしくなってきました



【10日目】最終日も集中して講義を聞く参加者



【10日目】アドバイスを受けながら最後の作業

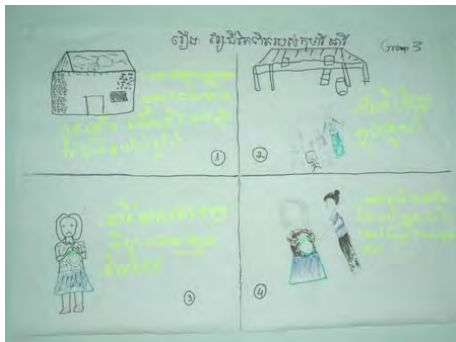


【終了後】全員が修了証書を頂きました

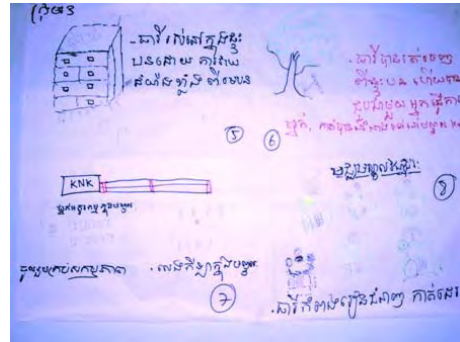


【終了後】10日間、大変お疲れ様でした

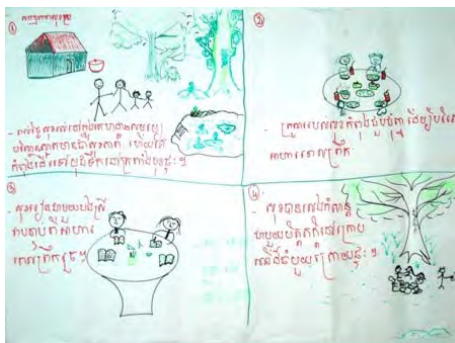
<製作作品>



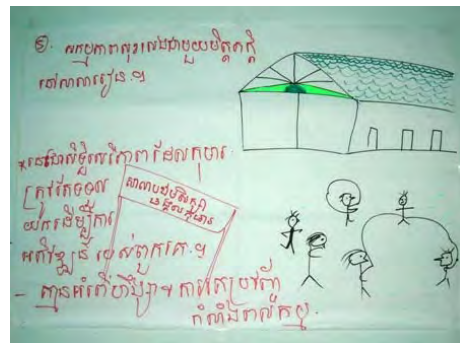
【ストーリーボード】グループ A①



【ストーリーボード】グループ A②



【ストーリーボード】グループ B①



【ストーリーボード】グループ B②



【ストーリーボード】グループ C



【ウェブサイト】グループ A



【ウェブサイト】グループ B



【ウェブサイト】グループ C